

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより



感謝の気持ちを込めて
和太鼓グループ「ひまわりっ子クラブ」15周年記念のつどい

中小企業先端設備導入に係る市税条例改正を可決 (P2~3)

- 質疑 (P2)
- 委員会審議 (P3~4)
- 一般質問 (P7~10)
- 議会報告「市民との意見交換会」(P14~15)

8

2018
NO. 156

6月定例会

質 疑

6月定例会で提案された議案（6ページ参照）に対し、2名の議員が質疑を行い、不明確な点を問い、説明を求めました。主なものを紹介します。

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（8月下旬掲載予定）にてご覧いただけます。



議案第59号 加西市税条例の一部を改正する条例の制定について



三宅 利弘 議員
(21 政会)

問 今回の法整備により新規取得の固定資産税（償却資産）が3年間ゼロになるということですが、これまでの法律及び加西市独自の条例との違いについて。

答 本条例の根拠となる法律は、生産性向上特別措置法です。これは、今後3年間を集中投資期間と位置付け、その間に取得された設備投資に対する固定資産税を、市町村の判断により3年間ゼロまたは2分の1に軽減するといったもので、加西市では、ゼロにするため条例の改正をするもの

です。一方、平成28年度から開始しています中小企業等経営強化法による固定資産税の特例制度があります。こちらは、中小企業が取得する新規設備に対し3年間2分の1に軽減するものです。さらに加西市では、加西市産業振興促進条例による奨励金制度と企業立地促進条例による課税免除制度があります。今回の生産性向上特別措置法での固定資産税は、償却資産が対象であり課税免除対象が重ならない形で活用できます。また加西市の二つの条例も併用して活用できます。

問 各企業等への周知について。

答 3月15日付で加西商工会議所を通じ、会員企業に対し、制度概要パンフレットと固定資産税の特例率をゼロとする意向を表明しましたという内容の文書を送

付しました。

問 市のメリットは。

答 3年間は課税が免除となり減収になりますが、減収分の75%は交付税で措置されます。また4年目からは、収入となり長期的に見ると増収につながり、さらに中小企業の支援や収益の向上、活性化にも寄与することから、大変よい制度であると評価しています。

■その他の質問項目

- ・ 議案第58号 加西市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について
- ・ 議案第61号 加西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

指定管理

議案第 57 号 加西市立コミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第 65 号 指定管理者の指定について（鶉野中地区コミュニティ供用施設）

青野ヶ原演習場等周辺設置助成事業により、新たに加西市立コミュニティ供用施設として鶉野中地区コミュニティ供用施設を設置し、当該地区の区長を指定管理者に指定するもの。

問 青野ヶ原演習場等周辺設置助成事業により整備された施設の使用については、他の自治会の施設とは別に、緊急時あるいは非常事態における時の使用条件が設定されているのか。

答 市の防災計画の中で非常時については、当該地区住民の一時避難場所という位置づけをしています。



副市長定数

議案第 58 号 加西市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について

加西市における副市長の定数について、現在の市政運営状況や今後の方向性を鑑み、定数を 1 人に改正するもの。

問 地方創生人材支援制度において国家公務員の派遣に限定する理由について。

答 地域創生を本気でやり切る、あるいは実現性を高める、スピード感を高めるためには国家公務員のキャリアの方に、我々の力をさらに強めてほしいという思いがあります。また、この支援制度については、技監、理事、部長の職において引き続き、人材派遣の要望を行っていきます。

討論【賛成】 副市長を 2 名にして一層加西市をよくしたい、新たな事業に取り組みたいということで、国との人材派遣の折衝を行ってきました。それがかなわなかったということであっても、引き続き、挑戦的な仕事をさせていただきたい。



市税

議案第 59 号 加西市税条例の一部を改正する条例の制定について

生産性向上特別措置法（平成 30 年法律第 25 号）に規定される先端設備の投資に係る固定資産税について新たに特例を定めるもの。

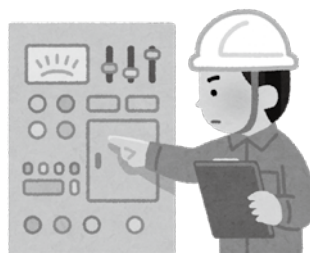
- ・中小企業の設備投資を集中的に行うため、先端設備に係る固定資産税を全額免除する。
- ・減収額の 75% は地方交付税で措置される。

問 事業者が行う申請手続きについて。

答 事業者の手続きとして、先端設備等導入計画書とあわせ、認定支援機関が発行する確認書を市に提出していただき、認定を得た後、設備を取得していただくようになります。

問 国が例示する設備のほかにも対象となるものがあるのか。

答 償却資産でも固定資産税の対象でないものもあるなど、個々の対応がありますので、相談をいただければと思います。



権限の移管

議案第 61 号 加西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成 26 年法律第 83 号）の施行に伴い、指定居宅介護支援事業所の指定権限が市へ移管されることとなったことから、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定めるもの。

問 市が監査を行うことになる居宅介護支援事業所は 16 施設あるとのことだが、監査を行う間隔は法令の基準ではどうなっているのか。

答 国の基準では、6 年間の指定の期間に 1 回以上行うことが望ましいと定めてあります。

問 人員体制は現状で十分対応できるのか。

答 指定権限の移管によって人員配置が多くなることはなく、非常に厳しい状況ではありますが、間違いないように実施していきたいと考えます。



条例廃止

議案第 62 号 乳牛育成センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について

東播磨農農業協同組合の統合に伴う事業廃止により、施設の解体撤去及び借地の賃貸借契約が満了したことから、条例を廃止するもの。

問 乳牛育成センターの土地を賃貸借契約していた 3 つの地区の現状と今後の計画について。

答 育成センターがあったところは、牛舎の撤去工事と防災工事を実施して返却しました。また、そのほかの採草放牧地につきましては、民間業者が利用したいという申し出があったことから防災工事等は当面行わず、利用方法等について協議しているところですが、保安林等の問題もあり調整を行なっている状況です。

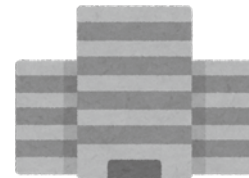
地域振興

議案第 63 号 加西市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について

所得税法及び関係省令の改正に伴い、企業の拠点強化に関する課税の特例の適用期限が、2 年間延長されたこと並びに条文中に引用する計画名等が変更されたため。

問 課税特例の適用を延長することにより、東京 23 区にある企業の本社機能の誘致や拡充について、加西市において可能性が出てくるのか。

答 市として企業誘致のプロジェクトを推進していますが、県が推進する優遇制度についても積極的に参画していく姿勢で企業誘致に臨み、本社機能の拡充も含めて産業団地の充実を図っていききたいと考えています。



建築基準

議案第 64 号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について

市街化調整区域内において新たな地区計画として「鶉野飛行場跡地東部産業拠点地区」、「鶉野上町産業集積地区」及び「東高室次世代へのまちづくり産業立地促進地区」の都市計画決定を行うことから、当該地区計画区域内における建築物の用途・敷地面積・壁面の位置・建築物の高さなどに関する基準を追加するもの。

問 鶉野飛行場跡地東部産業拠点地区の A 地区と B 地区の区分けについて。

答 A 地区については、鶉野中町で住宅や農地もあり準工業地域としています。B 地区については中野下宮木地区で、住宅もなく工業地域としています。



陳 情

陳情第1号 商工業地域への用途変更、工場建設反対の要望について

(陳情趣旨)

- 1 用途地の見直しに対する明確な開発計画の内容説明会を迅速に実施すること。
- 2 住民理解と了承のもとでの計画を進めること。
- 3 上記1、2の結果、開発に至る場合としても、住民として領ける環境を考えた商工業地としての開発とすること。
- 4 上記が網羅されない場合は、商工業地域への変更に反対とする。

委員会審議

建設経済厚生

問 なぜ市長に提出した要望書と同じ文章で議会に提出したのか。また市長からの回答文書に対してどのような意見を持っているか。

答 (陳情者) 地域住民が困っているという意見を、住民の代表である議員に聞いていただきたいという思いで議会に提出した。市の回答は、具体的な開発内容は決まっておらず、地域の方の意見を聞きながら進めると捉えたが、現実として具体的な開発計画の話をしており、開発計画ありきの見直しではないかと感じている。

問 地域づくりという観点から、商工業地域にすることによって、地域を活性化しようという考え方についてどう思うか。

答 (陳情者) 加西市が発展していくためには開発は必要だと考えるが、用途変更の結果、住居近くに工場が建設されると、音、臭い、振動、交通量などで地域環境が現在よりも悪化することを懸念している。そうい

う部分も勘案した上で工場建設の場所や内容を検討していただきたい。

問 地元の理解が進んでいないという陳情者の意見があったが、どのような地元説明会を行ったのか。

答 (都市計画課) 一定規模以上の店舗や工場が建設できる用途変更を説明する中で出された意見により、工場については準工業地域並みから、より規制のかかる商業地域並みに変更するとともに、他市の事例を写真で見せていただくなどしながら、理解を得るように努めてきました。中野町については4回の地元説明会を行い、下宮木町については平成29年11月から3回の地元説明会を行いました。今年4月の説明会では34名の参加があり、見直し計画に賛成の方から多数決を取ればどうかとの意見があり、反対の方の挙手を求めたところ6名で反対意見は少数という状況でした。



討 論

本会議

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。(発言順に掲載)

現段階は用途地域変更の計画であり具体的な開発がどうなるかは、この用途変更の見直しの後でしか説明のしようがない。また、住宅系から工業地域への変更の必要性については、平成29年11月、平成30年2月と4月に住民の方へ説明がされている。大きな反対もなく、理解を得ながら進めてきたと説明を受けている。今回陳情が提出されたことに対し、市として引き続き説明を続けると表明されている。まずは用途変更を決定し、その後、地区計画で地元の意見を反映していただきたい。

反対



森元清蔵 議員



井上芳弘 議員

賛成

件名は「商工業地域への用途変更、工場建設反対の要望について」となっているが、趣旨は地域への丁寧な説明と理解の上で進めてほしいというものだ。とりわけ、今回の陳情者は社会福祉法人であって、市街化決定され、第一種住宅区域とされて以降、事業を展開されている。管理者としての責任の上からも周囲の環境について十分関心を持って行動されるのは当然である。地域住民が一体となって活性化が図られることが第一であり、そのためには十分な説明と知識の共有が必要と思う。その立場から採択に賛成する。

議決結果 不採択 (賛成4 反対10)

第270回 加西市定例会議決結果一覧

平成30年6月4日～6月21日

■全会一致で承認、同意、可決した議案

- 報告第 1号 専決処分したものにつき承認を求めることについて（加西市税条例の一部改正）
- 議案第 53号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第 54号 損害評価会委員の委嘱につき同意を求めることについて
- 議案第 55号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第 56号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 議案第 57号 加西市立コミュニティ供用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 58号 加西市副市長定数条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 59号 加西市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 60号 加西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 61号 加西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第 62号 乳牛育成センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について
- 議案第 63号 加西市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 64号 加西市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第 65号 指定管理者の指定について（鶉野中地区コミュニティ供用施設）
- 議案第 66号 平成30年度加西市一般会計補正予算（第1号）について

■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	深田真史	丸岡弘満	原田久夫	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	植田通孝	黒田秀一	井上芳弘	三宅利弘	森元清蔵	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第52号 教育長の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	議長	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	原案同意 (賛13、反0)
陳情第1号 商工業地域への用途変更、工場建設反対の要望について	×	○	×	×	×	議長	×	○	×	○	○	×	×	×	×	原案不採択 (賛4、反10)

6月定例会

一般質問

6月12日、13日の本会議では、7名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（8月下旬掲載予定）にてご覧いただけます。



加西市内の観光の問題点について



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 観光地にトイレがない。ある場合でも汚い、古いという状況だが今後の対応について。

答 新しい観光拠点として、鶉野飛行場跡地の整備を進めています。トイレについては、防空壕等が点在し、ガイド依頼の多い神戸大学敷地周辺にトイレを建設中で、今年の8月頃完成予定です。また整備中の備蓄倉庫にも設置予定で、南北2カ所のトイレが整備されます。法華山一乗寺でもトイレの建て替えをされることを確認しています。

問 食事するところや、お土産の販売所の整備などの観光戦略について。

答 観光で賑わう、潤う仕掛けとして、①加西喝采みやげの充実、②加西産農産物等を活用した名物づくり、③直売所の充実、④加西サービスエリア事業者との連携、に取り組んでいます。現在、加西喝采みやげが購入できる販売店舗の拡大を図るとともに、年末にオープンするビジネスホテルをお土産の販売拠点とすることや、鶉野ミュージアム施設内に直売機能を持たせることを検討しています。また観光まちづくり協会、観光研究会と連携したお土産品の開発支援を行いたいと考えています。

問 観光ボランティアガイドの養成について。

答 今年度は、従来とは視点を変え、ガイドの申し込みがふえている鶉野飛行場跡地周辺を案内するボランティアガイド養成講座を実施する予定です。歴史を学び、興味を持つ中から、来訪者に話をする楽しさや充実感を感じてもらうことで、ガイドになる人材が生まれてくればと考えています。まずは定点ガイドができる人材を養成し、将来的に加西市全域を担ってもらえるよう取り組みたいと考えています。また、ガイドの方への加西市公認歴史街道ボランティアガイド証の発行や、観光案内にガイドさんのネームプレートを設置するなど、誇りと自信を持って活動できる取り組みも検討したいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ 福祉政策、公共交通、教育、中央公民館耐震工事について

児童・子供たちの安全対策、加西病院について



原田 久夫 議員
(21 政会)

問 安全教育と地域の方々の協力体制について。

答 子供たちの安全対策は重要課題です。全国各地で登下校中での悲惨な事件、事故が発生しています。子供たちが安心して通学できる安全な状態を確保するには交通安全、防犯、防災の3観点から対策することが必要です。学校、教育委員会のみならず、警察、道路管理者、保護者、PTA、そして地域の方々の関係者が、それぞれ役割を確認し、連携共同しながら対策を講ずることが重要で

あると考えています。

問 加西病院の現状と改善対策について。

答 総合病院として入院、外来そして診療行為で最も重要なのは医師の数です。昨年4月には循環器内科医、消化器内科医3名減でした。今年は、神経内科医2名減ですが、消化器内科医2名増、麻酔科の医師も1名増となり多くの手術、また内視鏡下の手術にも対応できるようになりました。患者さんの受け入れは、以前よりは非常に多くの患者を受け入れることができる状況です。新しい改革プランを作成し、市民の負託に応える地域医療の提供に努めたいと考えます。

問 平成29年9月26日に発足した加西病院サポーターの会について。

答 現在354名の会員の皆様から多くの活動をしていただいております。一部を紹介しますと毎週月曜日午前中は、病院の正面玄関で患者さんの介助及び車から車椅子、また院内への誘導等をしていただき、非常に喜ばれています。また、正面玄関付近での環境美化として、播磨農高から苗を提供していただき、サポーターの会員の皆様でポット等に植えていただいております。花いっぱい正面玄関になっています。

■その他の質問項目

- ・防犯パトロールの現状について
- ・通学路の防犯灯整備状況について
- ・通学路の防犯灯整備基準の見直しについて
- ・通学路、公園等の防犯カメラの設置について

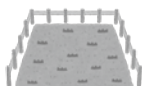
加西インター周辺の産業団地整備について



深田 真史 議員
(市民連合)

問 兵庫県と加西市の共同事業方式で進めるとしているが、その後どうなっているか。

答 兵庫県企業庁と相談しており、まだ具体的な内容は決定していません。県からは、①用地確保は市が責任を持って進める、②農地を潰し産業団地をつくる法手続は市が責任を持って完了させる、③進出企業を市が確実に決める、という3つの大きな課題をもらっています。



問 今のところ、兵庫県と加西市が「共同事業方式」で進めるという確約はできていないということか。

答 そのとおりです。



問 地権者への説明会は2月以降、開かれていない。5月に地権者宛てに技監名で文書を送付しているが、これはどういうことか。きちんと説明する必要があるのでは。

答 地権者との交渉状況について報告しました。まだ地権者の100%の同意が得られていません。引き続き交渉を行っていきます。

問 同意した地権者からすれば、今にも土地が売れ、企業が来ると思っている人もいる。他方、本当に産業団地ができるのかとの疑問の声もある。事業の確実性が問われている。

答 2020年に一部分譲開始でPR活動しています。関心を示す企業をまず決めないと産業団地ができません。また、各町役員の方とは常に協議しており、今後は地権者に対して、産業団地と圃場整備を合わせ、同様のスケジュールで進めているとの説明会を近いうちに開く予定です。

■その他の質問項目

- ・地方創生推進交付金について
- ・南部学校給食センター移転改築について
- ・監査について
- ・加西病院について

健康長寿の取り組みについて —運動ポイント事業の現状と効果—



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 運動ポイント事業は参加者の意見を聞くことが大切ではないかと考えますが。

答 参加者の方へ事業の当初と終盤にアンケートを行っており、8割を超える方が健康目的で参加されています。また、6割以上の方が体や生活環境に変化があったと答えられ、よく歩くようになった、運動を心がけてより健康になった、という意見が多く、食生活や筋力トレーニングなど、生活全般への健康意識の向上が見られます。ほかに、夫婦や家族、

友人と楽しく歩くことができた、新しい友人ができ楽しかった、という意見もあり、こころの健康にも効果があらわれました。

問 新たな特典のメニュー拡大で参加者をふやすことは、市民の健康維持にも非常に大切と考えますが。

答 今年度から、現在活動しておられる方が、新たに参加される方をご紹介いただくとポイントが付与されるメニューを追加しています。

問 この事業は健康増進や維持に対して、医療費の抑制ができるとの見解があり、本市も将来的には検証する必要があると思いますが。

答 加西市も当初から、参加者の国民健康保険加入の方で、

同意をされた約200名の医療費データを活用させていただいています。来年度以降もできる限りこの事業を拡大し、より多くの客体で長期間の医療費の抑制効果や推移について検証して、事業の効果測定を行いたいと考えています。

答 (市長) 運動ポイント事業はイオンとの連携が大変よかったですと思います。実数で約5,000人、1日平均約700人が参加されており、365日いつでも快適な空間で歩けます。さらにインセンティブが高まるような仕組みも考えていきたいと思います。健康で長生きすることは、社会保障を守るために大変重要であり、連携の自治体が広がるように、役割を果たしていきたいと考えます。そのためには、我々がしっかり効果を示せるよう検証したいと思えます。

小規模事業所への支援について



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 産業振興条例や基本計画が策定された後の具体的な手だてについて確認したい。

答 市内の事業所規模は、従業員者数3人以下が42.6%、4人から9人が24.3%、20人未満が8割を占めています。小規模企業の活力が最大限に発揮されることが、地域の持続的な発展を図れることから、加西市産業の振興に関する条例に基づき産業振興計画を制定しています。条例では8項目の振興施策を挙げており、目標推進のために商工会議所と加西

市産業振興センターを運営し、今まで取り組んできた会員向け事業を広く受け入れる体制をつくり、新たな課題に向け新規事業を進めています。具体的な新規事業は、創業支援、販路開拓、経営計画策定、国県市の補助金活用、事業継承対策など、特に小規模事業者対策として取り組んでいます。

要望 従業員数の少ない事業所にとって、制度を利用する余裕がないところもある。周知が図られ活用できるよう指導、支援をお願いしたい。

問 住宅リフォーム助成事業の具体的な効果について。

答 平成24年度から29年度の6年間で約300件、工事総額は約6億800万円の実績があります。最近の傾向として、高齢化による住宅機能の改善が大きな

需要となっています。大手ハウスメーカーに需要を奪われる中、市内事業者に限定した事業として歓迎されています。助成は商品券を発行しており、ねっぴ〜商品券事業をあわせて消費喚起事業として継続したいと考えます。

問 店舗リニューアルにも助成を行うなど、加西市で長く頑張ってきた事業者への支援も重要ではないか。

答 単純な店舗リニューアルではなく、生産性の向上や地域の貢献が図れるような事業を対象として制度設計ができたかと考えており、既存の補助、融資制度を含む利用幅のある制度改正を検討したいと考えます。

■その他の質問項目

・地域主体型交通について 他

安全安心なまちづくりについて



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 県道下滝野市川線の馬渡谷町の坂や二ツ池周辺の安全対策につき、山側から覆いかぶさる樹木対策、側溝への蓋掛けはどうなったのか。二ツ池のカーブ周辺道路のひび割れもあり、舗装整備を県へ要望していただきたい。

答 県が9月末までに道路境界から山側1メートル程度の草刈り剪定を行うとのことで、これにあわせて法面の樹木の剪定についても要望しました。また、昨年の側溝蓋掛けの要望では、検討したいとのことでしたが、今回改めて

県へ確認したところ本年度中に対応を考えますとの回答でした。具体的な工事内容、工期が決まり次第、地域の皆様に連絡させていただきたいと思います。

問 市道鴨谷別所線について、大型車両の通行も多く路面の損傷も著しい。現在の道路状況や整備計画は。

答 交通量も多く特に路面の傷みがあり、通行に課題があることは認識しておりますが、市単独の事業実施は困難であり、これまで舗装補修の事業として国へ社会資本整備総合交付金の要望を行っていますが、大変厳しい状況です。今後も事業採択に向け要望活動を行い、交付金獲得による事業実施を目指したいと考えます。

問 本来あるべき道路幅の一部が欠く状況、通常有すべき

安全性を欠いている。管理者として責任が問われる問題と思うが。

答 ご指摘の状況は確認しています。今、こういった工法がよいかも含め検討しており、安全対策についてしっかりと努めたいと思います。

問 都染町、青野町、野上町の町境が非常に暗く、通学の子どもにとって危険である。周辺では、車上荒らしも発生しているが、防犯灯の増設について。

答 整備がおくれた状況があり、地元の方々と協議し、積極的に整備したいと考えます。

■その他の質問項目

- ・中高連携教育について
- ・女性の権利と社会参加について
- ・若者活動について

児童の安全対策について



織部 徹 議員
(21 政会)

問 児童の安全対策として、ワッショイスクールや見守り隊などの活動があり、おかげで加西市では、児童を取り巻く事件が聞かれないが、不審者情報はいまだなくならず、危険な状況は続いている。本年5月7日に、新潟市で下校中の女子児童が殺害され、線路上に放置されるという痛ましい事件が発生した。見守り隊の活動状況についてお聞きしたい。

答 市内11校の子ども見守り隊は約1,200人で、市内同色の上着やベストを着用し、不審行

動への抑止力としての役割を果たしています。PTAも防犯啓発のステッカーやのぼり旗を市内各所に設置し、啓発、不審行動への抑止力に効果を上げています。

問 各学校の状況や地域によって違いがあり、活動できる範囲に限界もあると思うが、見守り隊の目の届かないところや児童が一人で帰るような場所等について、検証や点検はされているのか。

答 日頃から児童への安全指導や防犯ブザーの携帯など身を守る指導にも取り組んでおり、保護者や地域の方、あらゆる機関と連携協力をとることで、目の届かないところを極力減らすように取り組んでいます。

問 学童保育は、夕刻に保護者が直接迎えに来るため、安全に下校できると思う。学童保育

は保育料が必要なため、支払いに困る人は断念しなければならない。利用したい人が、もっと利用できるように料金を安くできないか。

答 保育料は現在、月額6,000円、夏休みの8月は1万2,000円で、料金は近隣の市町村とほぼ同水準です。加西市では4、5歳の保育料の無料化を行っており、平成31年10月から国が保育料を無料化すれば、加西市が支出している年間1億7,000万円が財源余剰となり、学童保育も含めた子育て支援の充実を図ることができればと考えます。

■その他の質問項目

- ・県道下滝野市川線の整備について
- ・市道満久都染線の満久西野々町間の整備について

傍聴しよう！



車椅子のまま傍聴できます

目の前で見てみよう！



傍聴マナーにご協力ください



STEP.1 議会事務局（議会棟2階）へ



市役所正面玄関の左手から、議会棟へ進みます。2階の事務局で「傍聴したい」と伝えます。

事務局では、

- ・名簿に必要事項（氏名と住所）を記載し、
- ・日程や審議資料を受け取ります。

STEP.2 本会議場／委員会室へ

事務局での手続きが完了したら、会議室へ向かいます。審議中でも入退室は自由です。



ネット中継で見てみよう！

- ◎ お家でゆっくり
- ◎ 仕事が終わってから
- ◎ スマホでいつでもどこでも

ライブ

録画



手話通訳を頼んでみよう！

希望する本会議開催日の1週間前までに申請しましょう。



- ★ 申請書はホームページからもダウンロードできます。
- ★ FAX / Email でご送付ください。（16 ページ参照）

議会運営

さらなる議会改革の推進



三宅 利弘 委員長

【所管事項】
議会の会期や議案審議の方法などの議会運営、議会基本条例の検証を含む議会改革など

この条例の目的が達成されているかどうかの検証を、現在、行っているところです（条例制定以降、2回目）。

今の議会をしっかりと見つめ、さらなる議会改革を推進するため丁寧に検証してまいります。

引き続き、市民との意見交換会を行い、議会運営の改善や政策立案に活かすよう努めてまいります。

ぜひ本会議、委員会の傍聴にもお越しいただければと思います。

— 重点的に取り組む事項 —

議会活動の活性化を行い、市民が主人公として安心して暮らせるまちづくりの推進を図るため、平成 22 年に議会基本条例を策定しました。

— 委員長から一言 —

市議会が、市民の皆様にとって身近な存在となるよう、より開かれた議会を目指してまいります。



子育て世代に選ばれる加西市を目指して

総務



中右 憲利 委員長

【所管事項】
市の将来計画、広報、市役所の組織、防災、市民参画、税金や市の財政、観光振興、教育など



づけ、また古典芸能への素養形成など、多様な取り組みがなされています。

委員会としては、先進地の視察等を通してさまざまな提案をし、議論を深めながら、魅力ある子育て支援施策や小中学校の教育の構築を支援してまいります。また、不登校

児童生徒のケアについても充実を求めています。さらに市内の高校の魅力化についても、効果等を検証、議論しながら、その施策が効果を発揮できるよう後押しをしていきます。

— 重点的に取り組む事項 —

今加西市は、子育て支援や魅力ある教育の構築に力を入れています。公園整備、幼保施設の充実、魅力ある英語教育、子供たちへの読書の習慣

— 委員長から一言 —

加西市が子育て、教育面で施設の充実、取り組みの先進性をアピールでき、子育て世代のご家族に住みたいと思ってもらえるような街になるよう取り組んでまいります。

市立加西病院の経営改善に向けて

建設経済厚生



松尾 幸宏 委員長

【所管事項】
福祉施策、商工業・農業の振興、道路や河川改修、住宅や上下水道の整備、環境、病院など

抽出後の改善優先順位についても重要です。

その状況の中で加西市にとって喫緊の課題は加西病院の経営問題であります。現在、市民有志による「加西病院サポーターの会」の発足により、

市民目線での環境改善・美化活動や、医師や患者の方々へのサポート活動が行われています。しかし医師の確保、入通院患者の確保、病院の意識改革が出来なくては経営を改善することはできません。

— 重点的に取り組む事項 —

当委員会が所管が多岐にわたっており、調査項目も多く委員会活動のみでは課題を網羅するのは難しく、個人的な調査活動も必要になり、課題



— 委員長から一言 —

病院経営の改善に向け、経営形態等の見直しも含め議論してまいります。皆様も「地域と市民を支える加西病院」をそれぞれの立場で応援をよろしくお願い致します。

行政視察・現地視察の実施報告

総務委員会

日程 平成30年5月15日(火)～16日(水)

視察先 ・岐阜県多治見市・長野県安曇野市

◇岐阜県多治見市

視察目的 多治見市立笠原中学校区での英語教育の取り組みについて



内容 特色ある英語教育への取り組みは、平成14年笠原中学校区での幼保小中一貫教育としてスタートした。平成15年～29年度までの15年間、笠原小・中学校が文部科学省の「英語教育研究開発学校」に指定され、30年度以降も「教育課程特例校」として従来の指導体制、授業時間を維持している。小学校1年生から中学校3年生まで9年間、系統的に問題解決的な場面設定をし、「聞く・話す・読む・書く」を通じてコミュニケーションへの意欲を高める授業をしている。また、驚きや発見、気付きが生まれ、伝え合う値打ちの高い内容でコミュニケーションをする工夫がされている。

所感 新しく覚えた単語を使って2人一組で話し、単語の使い方、スムーズな会話ができる方法を担任の先生、ALTの指導のもと、子供たちが自分

達で気づきながら習得していく姿が印象的だった。加西市でも色々な手法で使える英語の習得を目指し、英語を楽しめる児童生徒をふやしてほしい。

◇長野県安曇野市

視察目的 デマンド交通「あづみん」について

内容 安曇野市は平成17年、3町2村が合併して発足。人口約98,000人、面積約332平方キロメートル。運行エリアは旧5町村に分け、共通乗合エリアを作り、エリア内はどこでも乗り換えなしで行け、共通乗合エリアで乗り換えると市内全域へ行くことが可能となる。共通乗合エリアは総合病院、スーパー、駅、市役所等が集中している地域が指定されている。受付センターは社会福祉協議会に委託し、コンピューターシステムを活用しながら効率的な運行経路を考えてドライバーに送信。運行はタクシー会社4社に委託し、Door to doorの完全なデマンド交通を実現している。



所感 加西市でも北条鉄道、路線バスと共存する形でのデマンド交通が導入できればと思う。今、ふるさと創造会議で地域主体型の地域交通が模索されているが、できるだけ支援をして他の地域のモデルとなるようなシステムを創ってほしい。

建設経済厚生委員会

日程 平成30年6月26日(火)

視察項目 ◇鶉野飛行場跡周辺の整備状況の確認



⑦機銃座 平成29年度整備完了



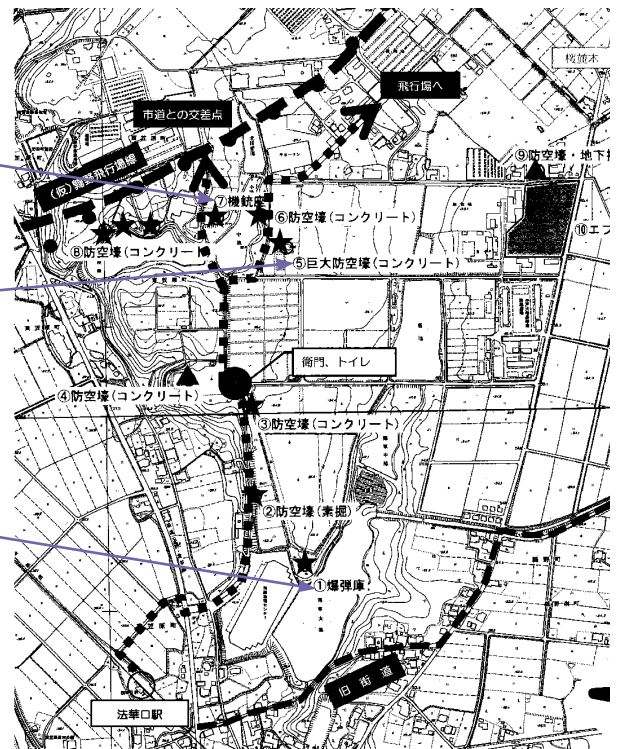
⑤巨大防空壕 平成30年度整備中



①爆弾庫 平成29年度整備完了



防災備蓄倉庫 平成31年1月完成に向け整備中 (滑走路北端部分に建築)



所感 計画どおり遺産群は整備されつつある。法華口駅から各遺産を巡って飛行場跡まで来ていただく工夫が必要。

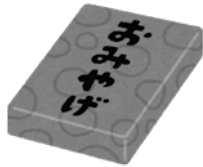
議会報告「市民との意見交換会」

平成30年4月13日に加西市観光まちづくり協会観光研究会、加西市歴史街道ボランティアガイドと4月25日には加西病院サポーターの会と議会報告並びに意見交換会を行いました。そこで述べられたご意見の一部を紹介します。

加西市観光まちづくり協会 観光研究会

加西市歴史街道 ボランティアガイド

- 食事処などが少なく、立地誘導をしてはどうか。もっと計画的にまちづくりを進める必要がある。(代表的な土産が紹介できない。観光客が食事や土産でお金を使うところがない。)
- 観光には経済効果があり、市の知名度は観光で決まるのではないか。
- 市民意識の向上を図り、郷土愛を育てる必要があるのではないか。
- 鶉野飛行場のことを最近知った。市民にPRが必要でもっと情報発信して欲しい。
- みんなが市内の良いところを知ることが大切ではないか。都会との繋がりを強化して発展させることも必要だと思う。
- 鶉野は戦争遺産だけでなく、平和利用にも活用する必要があると思う。
- 地域住民が愛着や誇りを持つことが必要である。



- 地域おこし協力隊は有効である(空気が変わる)。
- 観光とまちづくりを一体で行う必要がある。
- 高校までは加西の魅力を感じなかった。各ふるさと創生会議の取り組みを点から線へ、線から面へと広げていきたい。

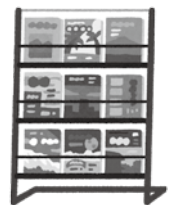
- 若者も市に帰って頑張りたいと思っている人もあり、若者に目を向けて、市としての取り組みを進めてほしい。



- 昨年、観光まちづくり協会が主催して全国から40名を超える産業遺産コーディネーターが来市して、鶉野飛行場跡地を産業遺産の観点から検討した。移動手段の確保が重要で、私どもがバスを確保して料金を取ることは法的にできない。旅行業者であれば有料でバスを手配できるが民間ではできない。加西市が主催したツアーで市のバスを使えば法律に抵触しないが、費用負担の問題がある。観光まちづくり協会が資格を取って行う方法もあるが、採算性については難しいのではないか。



- また、現状の観光案内所にさらなる情報発信をお願いするのは難しいのではないか。
- 道の駅があればよいのではないか。
- トイレのないところがある。ハイキングコースにも必要ではないか。
- ついでに寄る観光客が多い。PR不足ではないか。
- 議会も行事参加などでPRに努めてほしい。
- 市がバスを確保して観光を推進したら、ボランティアのやりがいもふえる。
- 鶉野飛行場跡地の案内で、情報不足のため説明できない。もっと具体的な計画を知らせてほしい。
- 「鶉野」は、振り仮名が必要ではないか。また、看板が少ないのでしっかりした物を設置してほしい。



- 他県から移住したが、加西は自然環境がよくて歴史もあって素晴らしい地域である。地元の人がよく思っていないのが問題ではないか。
- 鶉野飛行場跡地の資料館への交通の便を考えてほしい。
- ボランティアガイドも高齢化が進んでおり、養成のために財政支援をお願いしたい。



加西病院サポーターの会

○サポーターの会は、住民の安心安全の確保の一環として、市民レベルで加西病院の経営安定を目指して、あえて個人的なつながりで賛同者を募り活動を展開している。救急時の急性期対応は絶対に必要、リハビリ等の対応の回復期病棟も重要、終末期の対応も必要と考えている。公立病院で神経科がある総合病院としての加西病院は極めて重要である。加西病院の重要性を市民が認識し自分たちの財産として、自分のため、家族のため、地域のためにその意識を高めてほしい。市議会議員OB会より資金提供があり感謝している。市議会議員の皆さんにも加西病院への支援や応援をお願いする。



○病院職員との交流、受診者や患者目線での病院点検、正月勤務する医者への差し入れ、退職医師への感謝メッセージとお礼品の提供、介助ボランティアの取り組み、病院美化の取り組み、認知症患者への対応等、できることから頑張っている。不便な北向き玄関の問題や受付の問題等、改善すれば喜んでもらえる病院になる確信がある。加西病院が持つ機能を市民に理解してもらえれば、みんなが支える病院となる。そのために病院に関する情報発信が大切である。



○昨年のタウンミーティングでわかったが、加西病院のよさや経営状況も含めた情報が伝わっていない。これまで市民的理解がない状態であり、医師不足や財政的な経営状態の『危機的状況』の情報発信が、今こそ必要である。

○病院選びは個人や患者の自由だが、加西病院がなくなればどうなるか。患者や住民がたちまち困ることを市民が理解して支援しなければ病院は維持できない。いつまでも病院はあって当たり前では病院は維持できない。議会は、もっと踏み込んで対策や協力を考えるべき。

○今の人口で公立総合病院を維持することは大変と理解しているが、それを独立組織にすることはとんでもないことである。施設も設備も老朽化する中、駐車場は拡大され喜んだが、赤字が続く、職員数が多すぎる、なんでも即対応ができない、これらの点は病院のみならず行政全般に言えることで、議会のさらなるチェック機能を望みたい。



○医師確保に加えてサービスも向上させてほしい。それなりに医療機器は更新されても、使いこなす医師を招いた上で、急性期も回復期も受け入れできる病院体制を期待している。高度な医療体制を構築することにより、今の加西病院を受け継ぎ維持していくことでよいと考えている。

○薬局と玄関の往来の安全確保、車イスで来院する患者さんや認知症患者さんを受け入れる玄関の整備が必要など、現状をしっかりと確実に把握して課題解決に取り組むべき。



『新しい物』を求めるより、病院組織としてのチームワークやチーム医療の良さや効果を追求すれば通じるものが見えてくるのではないかと。新しい患者を求めることも必要ではあるが、受診した患者や治療した患者に評価してもらえらる病院にすべきと思う。喫茶コーナーや談話のスペースを工夫して確保すること、また医師にとってやりがいのある病院とすべきである。今が頑張りどころと認識して、サポーターの会の活動をしている。



○噂では悪い評判や評価を耳にしてきたが、自分が世話になったとき対応がよく安心できた。風評をどのように払拭するのか。玄関も狭くて不便で老朽化、イメージも悪い。

○地域が支え応援する病院は生き残っている。医師と病院を信頼し支援することが、病院を育て、医師を育て、頑張ってもらえる病院体制になる。先進的な他の病院の取り組みに学びつつ、また情報をいただきながら、加西病院のPRを図っていく。さらに院内の見学や病院の現状を確認して、市民へ情報発信したい。医療従事者との交流会等も実施して意思疎通も図りながら、古い病院であっても加西病院のよさを引き出していききたい。



市議会トピックス

■ 行政視察の受入状況

全国各地の市議会が、加西市の先進的に取り組んでいる事業を調査するため、行政視察に訪れています。

平成 29 年度は、9 団体が訪れました。

平成 30 年度は、現在 4 団体を受け入れています。



(平成 30 年 7 月現在)

月日	団体名	調査事項
5月14日	大分県中津市議会	議会基本条例の検証について
7月2日	大分県宇佐市議会	鵜野飛行場跡等戦争遺跡の概要について
7月19日	静岡県菊川市議会	シティプロモーションの取り組みについて
7月30日	滋賀県野洲市議会	地域主体型交通の取り組みについて

■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

9月定例会での取り扱いを希望される場合は、平成 30 年 8 月 24 日 (金) 17 時までにご提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録も見ることができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記 QR コードをご利用ください。

■ 平成 30 年 9 月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
9月3日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
9月5日(水)	15:00	発言通告期限 (質疑・一般質問)
9月11日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
9月12日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
9月13日(木)	10:00	本会議 (予備日)
9月14日(金)	9:00	総務委員会 (議案審査・決算審査)
9月18日(火)	9:00	建設経済厚生委員会 (議案審査・決算審査)
9月19日(水)	9:00	建設経済厚生委員会 (議案審査・決算審査)
9月26日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (委員長報告・討論・採決)

ぜひ傍聴にお越しください!



インターネット
議会中継
(ライブ・録画)



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾 1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森元 清蔵
委員 植田 通孝
委員 三宅 利弘

副委員長 井上 芳弘
委員 松尾 幸宏
委員 森田 博美